

つがる警察署の交通指導取締り重点路線・重点地区（令和3年7月～12月）

重点路線(地区)	指定理由(事故分析結果のほか、取締り要望、交通実態等も勘案の上、指定すること)
1 国道101号	管内で交通量が多い路線である。取締りを強化した結果、重大事故の発生は防げているものの、飲酒運転に絡む重大事故が過去に発生している。この路線は上半期と比べ、下半期の発生が突出していることから、上半期に事故発生は少なかったものの、取締りを継続実施していく必要がある路線である。
2 県道	当署管内は県道が他署よりも多く、県道で事故が発生する割合はどの年も高くなっている。発生時間帯は、主に交通量が多い日中であり、一時不停止や歩行者妨害が原因による事故が発生している。また、見通しの良い道路が多く、実勢速度も速いため、速度超過の取締りや一時不停止・信号無視といった交差点関連の取締りが必要である。
3 柏地区	大型ショッピングモールなど多くの店舗が建ち並び、交通量が最も多い地区であり、主道路の国道101号や県道が通り、管内の発生件数の多くを占める地区でもある。発生時間帯は、日中が多いが、薄暮・夜間の発生も目立っている。事故は出会い頭や追突事故が散見される。運転手の交通法令遵守意識を高めるため、日中や薄暮の取締り、夜間検問など、取締り時間帯を工夫し、駐留警戒などの活動も取り入れていく必要がある。
4 木造地区	柏地区について交通事故の発生が多く、6月30日には死亡事故が発生した地区である。地区自体が広く、管内の中で最も学校が多い地区であるため、児童の安全確保のためにも横断歩行者の保護活動を積極的に実施していく必要がある。また、飲酒運転の検挙が上半期に複数あったことから、飲酒運転の取締りを強化する必要がある。
5 稲垣地区	地区内での発生件数は少ないが、昨年に死亡事故が発生した地区である。また、この地区では、時間外死亡事故、重傷事故が上半期に発生している他、無免許運転等の悪質違反の検挙も目立っている。警戒走行の強化など、警察官の姿を見せる活動や取締りを強化し、重大事故を抑止していく必要がある。

※ 重点路線・重点地区以外の場所であっても、取締りを実施することがあります。

つがる警察署の指導取締り方針（令和3年7月～12月）

重点路線(地区)	重点的に取締りを実施する違反種別と月回数							
	速度	信号	一停	歩行者妨害	飲酒	シートベルト	自転車	
1 国道101号	○	○			○	○		
2 県道	○		○	○	○	○		
3 柏地区	○	○	○	○	○	○	○	
4 木造地区	○			○	○	○	○	
5 稲垣地区						○		

※ 重点的に取締りを実施するとして違反以外であっても、取締りを実施することがあります。